

上野原市土砂災害ハザードマップ

お問い合わせ先：上野原市役所【代表】TEL 0554-62-3111【危機管理室危機管理担当】TEL 0554-62-3145 令和3年3月作成

土砂災害ハザードマップについて

土砂災害ハザードマップは、山梨県が指定した土砂災害警戒区域を表示しています。土砂災害警戒区域は、土砂災害（がけ崩れ、土石流、地すべり）が発生した場合に、住民に危害が生じるおそれのある区域です。

台風や集中豪雨など大雨の際には、土砂災害に注意し、異常を感じたり避難勧告等（警戒レベル4以上）が出されたらした場合は、ただちに避難してください。

なお、土砂災害警戒区域以外の斜面や渓流においても土砂災害が発生することがあります。周囲の状況をよく見て、安全を確保してください。

このマップの使い方

- 自宅周辺の危険な箇所を確認する**
 - あなたの家や良く行く場所を地図上でさがしましょう。
 - あなたの家や良く行く場所の周辺には、危険な箇所がありますか？
 - ※土砂災害警戒区域の他に、高いがけなども注意しましょう。
- 避難場所までの経路を確認しましょう**
 - あなたの家から避難場所まで、どのくらい時間がかかりますか？
 - 避難場所までの経路に土砂災害の危険な場所、水路やいつも冠水する道路がありますか？
 - ※市が指定した避難場所に行けない時に、安全を確保できる場所も確認しておきましょう。
- 実際に避難場所まで歩いてみましょう**
 - 避難場所までの経路にある危険な場所をチェックしましょう。
 - △危険な場所（道路の側溝、用水路、高い崖、谷の出口）
 - 夜間でも避難できるような街灯はありますか？
 - 避難経路に沿って避難を呼びかけていく住宅等がありますか？
- 我が家の避難計画をたてましょう**
 - 避難場所までの所要時間や危険箇所の状況から、いつ避難するかをきめておきましょう。
 - 避難を判断するために必要な情報の入手先を確認しましょう。
 - 非常持ち出し品・非常備蓄品の準備を確認しましょう。

避難所・避難場所一覧

No.	名称	地区	所在地
1	旧大目小学校	大目	大野4013
2	旧平和中学校	大目・甲東	野田尻808
3	大目出張所	大目	大野1261
4	上野原小学校旧和見分校	甲東・和見	和見955
5	甲東出張所	甲東	野田尻334-1
6	旧沢松小学校	巖・沢松	八ツ沢12
7	上野原西小学校	巖・コモア	コモアつ2-13-1
8	上野原西中学校	巖	四方津215
9	旧大鶴小学校	大鶴	大倉1571
10	島田小学校	島田	鶴島2024
11	旧島田中学校	島田	鶴島2255
12	上野原小学校	上野原	上野原3454
13	上野原中学校	上野原	上野原9191
14	上野原市文化ホール	上野原	上野原3832
15	上野原高等学校	巖・沢松	八ツ沢555
16	旧大明誠高等学校	上野原	上野原3200
17	旧桐原小学校	桐原	桐原7234
18	旧桐原中学校	桐原	桐原6443
19	ふるさと長寿館	桐原	桐原2374-1
20	旧西原小学校	西原	西原6996
21	西原出張所	西原	西原3947
22	秋山小学校	秋山	秋山8674
23	秋山中学校	秋山	秋山6770
24	旧沢沢小学校	秋山	秋山11862
25	無生野集会所	秋山	秋山12370-1
26	旧桜井小学校	秋山	秋山3325
27	上野原市中央防災公園	上野原	上野原3760-1

避難の心得

避難を開始するときの心得

日頃から避難に必要なものを整理しておくとともに、避難の手順について家庭で話し合いをしておく、いざというとき、あわてずに避難ができます。また、避難するときは、ラジオや広報車からの情報を確認し、ひとりで行動せず、必ずグループで行動しましょう。

最新情報の収集

テレビ、ラジオ、インターネットで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。※情報の入手先は「裏面」を参考に！

避難の呼びかけに注意

危険が迫ったときには、市役所や消防署などから避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難しましょう。

屋外の状況に注意

避難場所までの移動がかえって危険であると感じるときには、近くの頑丈な建物や2階以上の山から離れた部屋に移動しましょう。

避難する前に、もう一度火元の確認を

ガスの元栓、電気ブレーカーも忘れずに止めましょう。

動きやすい格好、2人以上での避難

避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での行動を心がけましょう。

避難のときに注意する場所

避難場所までの路上には、いろいろな危険が潜んでいます。日頃から身の回りの様子を観察し、大雨のときに危険な場所を確認しておきましょう。特に、大雨のときに田んぼの見回りなどで増水した川や水路に近づくことは危険です。

水路の周辺

水路には、ガードレールなどの防護柵がないことがあります。また、側溝にフタがないことがあります。浸水時には、水路や側溝の場所が分からなくなり、流される危険があります。

土砂災害

浸流や「がけ」は、大雨が降ると土砂災害が発生したり、崩れるおそれがあります。大雨のときは近づかないようにしましょう。また、浸流や「がけ」の近くに住宅がある場合には、早めの避難を心がけましょう。

橋

洪水や土石流によって、橋が流出することがあります。橋を渡らないで避難場所へ行く経路を普段から考えておきましょう。橋を渡らないと避難場所へ行けない地域では、早めの避難を考えましょう。

浸水しやすい場所

周辺よりも低くなっているところは、水がたまりやすいので注意が必要です。特に、大雨のときの車の地下道の通過は、非常に危険ですので、十分に注意してください。

災害時要援護者への避難の協力

お年寄りや乳幼児、障がいのある人は、早めの避難が必要です。日頃から地域でのコミュニケーションをはかり、災害時に円滑な避難ができるよう心がけましょう。

高齢の方や病氣の方には

背負ったり、ひじや肩につかまってもうたたりして誘導しましょう。常備薬は忘れずに。

身体の不自由な方には

それぞれの人に適した誘導方法を確認し、早めの避難を心がけましょう。車椅子の場合、階段では必ず3~4人で協力し、上がるときは前向きに、下るときは後ろ向きにして、恐怖感を与えないようにしましょう。

目、耳の不自由な方には

誘導するときは、声をかけながら杖を持っていない腕のひじのあたりに軽く触れるか、腕を肩してゆっくり歩きましょう。手話、筆談、身振りなどで現在の状況を知らせましょう。

妊婦の方や乳幼児には

困っていることがないか声をかけ、避難場所まで一緒に行動しましょう。

地図の見方

避難所・避難場所

	避難所・避難場所
	土砂災害時の避難所・避難場所（風水害時一時避難所・避難場所）
	その他の災害時の避難所・避難場所（大災害時長期避難所・避難場所）

凡例

	市役所
	消防団詰所
	国
	高速道路
	鉄道
	市町村境
	行政区境

土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域とは

法律に基づいて、県が土砂災害により被害を受けるおそれのある区域を指定したものです。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

急傾斜地の崩壊等、土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれのある区域

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

急傾斜地の崩壊等、土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれのある区域

土砂災害警戒区域等		
急傾斜地の崩壊（がけ崩れ） 警戒区域 特別警戒区域	土石流 警戒区域 特別警戒区域	地すべり 警戒区域
降雨時に地中にしみ込んだ水分により不安定化した斜面が急激に崩れ落ちる現象	山腹、谷底にある土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象	斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象
<前兆現象> <ul style="list-style-type: none">がけに割れ目が見えるがけから小石がバラバラと落ちるがけから水が噴出する木の根が切れる音がする木が揺れる木が傾いたり倒れる	<前兆現象> <ul style="list-style-type: none">渓流付近の斜面が崩れ出す川の水位が異常に濁る雨が降り続けているのに川の水位が下がる濁りに流木が混じり出す濁りに流木が混じり出す地鳴りや山鳴りがする異常な臭いがする	<前兆現象> <ul style="list-style-type: none">地面や道路にひび割れや段差ができる流水や池の水が濁る斜面から水が噴き出す木が揺れたり裂ける音がする家が傾き戸や窓の開閉が困難になる擁壁や電柱が傾く